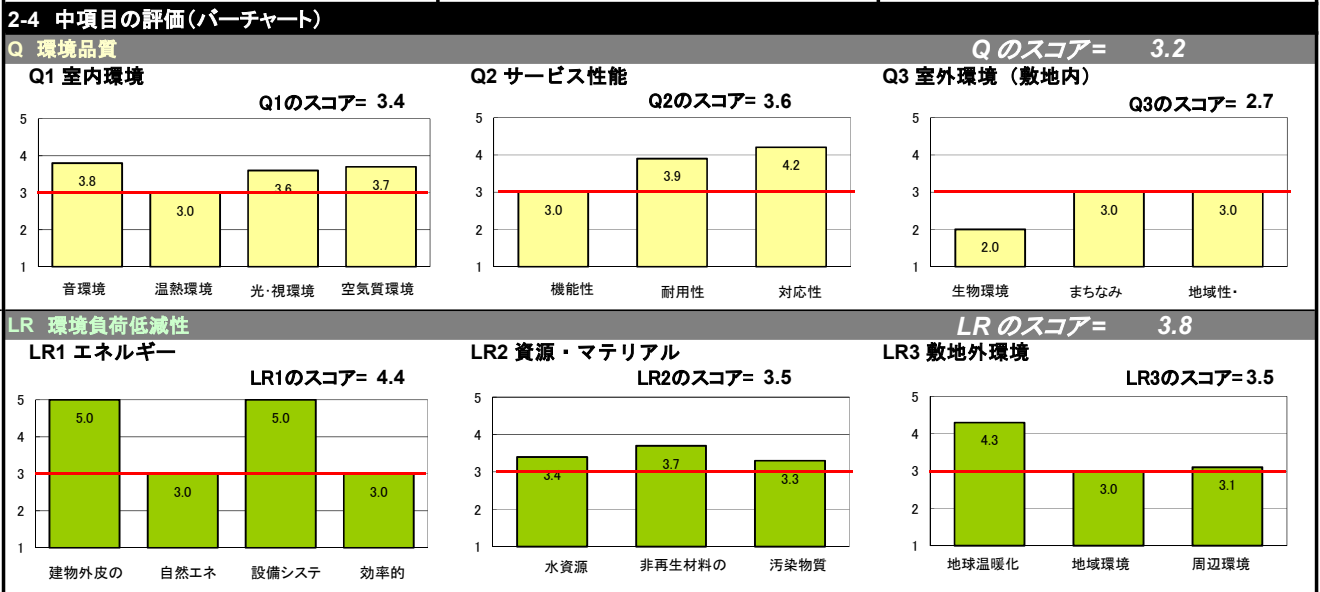
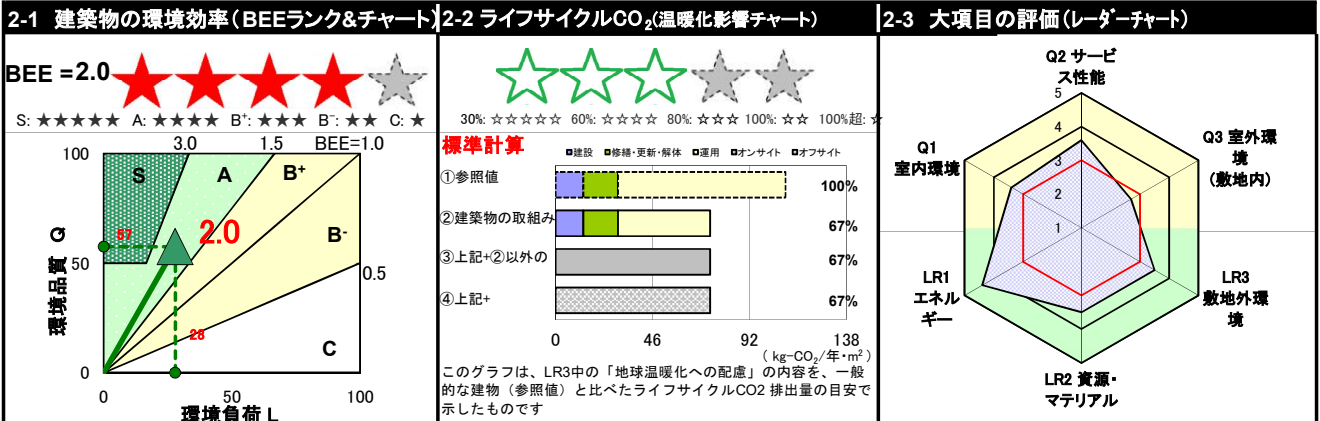




1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	浦島合同庁舎(仮称)整備事業	階数	地上4F
建設地	横浜市神奈川区浦島4-2、4-36	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域、準防火地域	平均居住人員	80 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,976 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年4月 予定	評価の実施日	2024年6月26日
敷地面積	3,216 m ²	作成者	栗原寿樹矢
建築面積	1,316 m ²	確認日	2024年7月8日
延床面積	4,681 m ²	確認者	栗原寿樹矢



3 設計上の配慮事項		
総合	断熱性の高い材料の採用と高効率な設備機器の導入、節水型器具の採用等により、環境負荷の低減に配慮した建物である。	その他 特になし。
Q1 室内環境	使用建材全てにF☆☆☆☆製品を使用し、室内空気質環境へ配慮している	Q3 室外環境(敷地内) 中高木・低木・被地植物等により敷地内緑化に努めている。
LR1 エネルギー	高効率な設備機器を採用し、エネルギーの効率的利用に配慮している。	LR3 敷地外環境 光害対策に十分に配慮した計画。
Q2 サービス性能	ゆとりのある階高と空間の自由さ、積載荷重の計画により、将来用途変更可能性へ配慮している	
LR2 資源・マテリアル	建物の節水性に配慮し、躯体材料以外にリサイクル材を採用し、非再生性資源の使用量削減に努めた。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

■LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい



4 横浜市重点項目についての環境配慮概要

<非住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。

建物名称 浦島合同庁舎(仮称)整備事業

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving

重点項目への取組(5点満点)

【省エネルギー性能】

5

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)

この建物の設計一次エネルギー消費量 45 %削減



一次エネルギー消費量基準

適合

外皮基準

対象外

受付日

2024年7月26日

誘導基準
(20%削減)

■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

①高性能断熱材、Low-E複層ガラスの採用

③高効率空調器、全熱交換器の採用

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community

重点項目への取組(5点満点)

【快適・働きやすさ】

3

■室内環境対策 (⑨温熱環境対策 ⑩光環境 ⑪空気質環境)

⑩自動照明制御を採用している

⑪建物内に喫煙ブースを設けていない

■機能性対策 (⑫機能性 ⑬知的生産性向上の取組)

■室外環境(敷地内)対策 (⑭敷地内温熱環境の向上)

防災への配慮 (R) Resilience

重点項目への取組(5点満点)

【防災】

4

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

⑮建築基準法に定められた50%増の耐震性を有する

⑯給水管:水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管、雑排水管・污水管・通気管:耐火二層管、硬質ポリ塩化ビニル管

⑰耐震クラスA

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape

重点項目への取組(5点満点)

【地域・まちづくり】

3

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

太陽光発電などの導入



太陽光利用

エネルギーマネジメントシステム導入

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)



CASBEE横浜2022年版v.1.2

浦島合同庁舎(仮称)整備事業

バージョン CASBEE横浜2022年版v.1.2

スコアシート 実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質					-		-	3.2
Q1 室内環境					0.40		-	3.4
1 音環境				3.8	0.15	-	-	3.8
1.1 騒音				4.0	0.40	-	-	-
1.2 遮音				4.2	0.40	-	-	-
1 開口部遮音性能				5.0	0.60	-	-	-
2 界壁遮音性能				3.0	0.40	-	-	-
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-	-	-	-
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-	-	-	-
1.3 吸音				3.0	0.20	-	-	-
2 温熱環境				3.0	0.35	-	-	3.0
2.1 室温制御				3.0	0.50	-	-	-
1 室温	快適・働きやすさ	⑨温熱環境		3.0	0.38	-	-	-
2 外皮性能	健康・安心	⑨温熱環境	⑤外皮性能	3.0	0.25	-	-	-
3 ゾーン別制御性	快適・働きやすさ	⑨温熱環境		3.0	0.38	-	-	-
2.2 湿度制御	快適・働きやすさ	⑨温熱環境		3.0	0.20	-	-	-
2.3 空調方式	快適・働きやすさ	⑨温熱環境		3.0	0.30	-	-	-
3 光・視環境				3.6	0.25	-	-	3.6
3.1 昼光利用				3.0	0.30	-	-	-
1 昼光率	快適・働きやすさ	⑩光環境		3.0	0.60	-	-	-
2 方位別開口	快適・働きやすさ	⑩光環境		-	-	-	-	-
3 昼光利用設備	快適・働きやすさ	⑩光環境		3.0	0.40	-	-	-
3.2 グレア対策				3.0	0.30	-	-	-
1 昼光制御	快適・働きやすさ	⑩光環境		3.0	1.00	-	-	-
3.3 照度	快適・働きやすさ	⑩光環境		4.0	0.15	-	-	-
3.4 照明制御	快適・働きやすさ	⑩光環境		5.0	0.25	-	-	-
4 空気質環境				3.7	0.25	-	-	3.7
4.1 発生源対策				4.0	0.50	-	-	-
1 化学汚染物質	快適・働きやすさ	⑪空気質環境		4.0	1.00	-	-	-
4.2 換気				3.0	0.30	-	-	-
1 換気量	快適・働きやすさ	⑪空気質環境		3.0	0.33	-	-	-
2 自然換気性能	快適・働きやすさ	⑪空気質環境		3.0	0.33	-	-	-
3 取り入れ外気への配慮	快適・働きやすさ	⑪空気質環境		3.0	0.33	-	-	-
4.3 運用管理				4.0	0.20	-	-	-
1 CO ₂ の監視	快適・働きやすさ	⑪空気質環境		3.0	0.50	-	-	-
2 喫煙の制御	快適・働きやすさ	⑪空気質環境		5.0	0.50	-	-	-
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-	3.6
1 機能性				3.0	0.40	-	-	3.0
1.1 機能性・使いやすさ				3.3	0.40	-	-	-
1 広さ・収納性	快適・働きやすさ	⑫機能性		4.0	0.33	-	-	-
2 高度情報通信設備対応	快適・働きやすさ	⑫機能性		3.0	0.33	-	-	-
3 バリアフリー計画	快適・働きやすさ	⑫機能性		3.0	0.33	-	-	-
1.2 心理性・快適性				2.6	0.30	-	-	-
1 広さ感・景観	快適・働きやすさ	⑫機能性		3.0	0.33	-	-	-
2 リフレッシュスペース	快適・働きやすさ	⑫機能性		2.0	0.33	-	-	-
3 内装計画	快適・働きやすさ	⑫機能性		3.0	0.33	1.0	-	-
1.3 維持管理				3.0	0.30	-	-	-
1 維持管理に配慮した設計	快適・働きやすさ	⑫機能性		3.0	0.50	-	-	-
2 維持管理用機能の確保	快適・働きやすさ	⑫機能性		3.0	0.50	-	-	-
2 耐用性・信頼性				3.9	0.30	-	-	3.9
2.1 耐震・免震				4.6	0.50	-	-	-
1 耐震性	防 災	⑮耐震・免震		5.0	0.80	-	-	-
2 免震・制振性能	防 災	⑮耐震・免震		3.0	0.20	-	-	-
2.2 部品・部材の耐用年数				3.4	0.30	-	-	-
1 躯体材料の耐用年数	防 災	⑯部品・部材の耐用年数向上		3.0	0.20	-	-	-
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	防 災	⑯部品・部材の耐用年数向上		3.0	0.20	-	-	-
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	防 災	⑯部品・部材の耐用年数向上		3.0	0.10	-	-	-
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	防 災	⑯部品・部材の耐用年数向上		3.0	0.10	-	-	-
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	防 災	⑯部品・部材の耐用年数向上		5.0	0.20	-	-	-
6 主要設備機器の更新必要間隔	防 災	⑯部品・部材の耐用年数向上		3.0	0.20	-	-	-
2.4 信頼性				3.2	0.20	-	-	-
1 空調・換気設備	防 災	⑰信頼性		3.0	0.20	-	-	-
2 給排水・衛生設備	防 災	⑰信頼性		3.0	0.20	-	-	-
3 電気設備	防 災	⑰信頼性		3.0	0.20	-	-	-
4 機械・配管支持方法	防 災	⑰信頼性		4.0	0.20	-	-	-
5 通信・情報設備	防 災	⑰信頼性		3.0	0.20	-	-	-
3 対応性・更新性				4.2	0.30	-	-	4.2
3.1 空間のゆとり				4.6	0.30	-	-	-
1 階高のゆとり				5.0	0.60	-	-	-
2 空間の形状・自由さ				4.0	0.40	-	-	-
3.2 荷重のゆとり				5.0	0.30	-	-	-
3.3 設備の更新性				3.4	0.40	-	-	-
1 空調配管の更新性				3.0	0.20	-	-	-
2 給排水管の更新性				3.0	0.20	-	-	-
3 電気配線の更新性				5.0	0.10	-	-	-
4 通信配線の更新性				5.0	0.10	-	-	-
5 設備機器の更新性				3.0	0.20	-	-	-
6 バックアップスペースの確保				3.0	0.20	-	-	-



CASBEE横浜2022年版v.1.2

浦島合同庁舎(仮称)整備事業

バージョン CASBEE横浜2022年版v.1.2

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅> <集合住宅>				評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q3 室外環境(敷地内)						-	0.30	-	-	2.7
1	生物環境の保全と創出	地域・まちづくり		⑩生物環境の保全と創出		2.0	0.30	-	-	2.0
2	まちなみ・景観への配慮	地域・まちづくり		⑨まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40	-	-	3.0
3	地域性・アメニティへの配慮					3.0	0.30	-	-	3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	地域・まちづくり		⑫地域性への配慮		3.0	0.50	-	-	-
3.2	敷地内温熱環境の向上	快適・働きやすさ		⑭敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性						-	-	-	-	3.8
LR1 エネルギー						-	0.40	-	-	4.4
1	建物外皮の熱負荷抑制	省エネルギー性能		①建物の熱負荷抑制		5.0	0.20	-	-	5.0
2	自然エネルギー利用	省エネルギー性能		②自然エネルギー利用		3.0	0.10	-	-	3.0
3	設備システムの高効率化	省エネルギー性能		③設備システムの高効率化		5.0	0.50	-	-	5.0
4	効率的運用					3.0	0.20	-	-	3.0
	集合住宅以外の評価					3.0	1.00	-	-	-
4.1	モニタリング	省エネルギー性能		④効率的運用		3.0	0.50	-	-	-
4.2	運用管理体制	省エネルギー性能		④効率的運用		3.0	0.50	-	-	-
	集合住宅の評価					-	-	-	-	-
4.1	モニタリング	省エネルギー性能		④効率的運用		-	-	-	-	-
4.2	運用管理体制	省エネルギー性能		④効率的運用		-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル						-	0.30	-	-	3.5
1	水資源保護					3.4	0.20	-	-	3.4
1.1	節水					4.0	0.40	-	-	-
1.2	雨水利用・雑排水等の利用					3.0	0.60	-	-	-
1	雨水利用システム導入の有無					3.0	0.70	-	-	-
2	雑排水等利用システム導入の有無					3.0	0.30	-	-	-
2	非再生性資源の使用量削減					3.7	0.60	-	-	3.7
2.1	材料使用量の削減					3.0	0.10	-	-	-
2.2	既存建築躯体等の継続使用					3.0	0.20	-	-	-
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用					3.0	0.20	-	-	-
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用					5.0	0.20	-	-	-
2.5	持続可能な森林から産出された木材					2.0	0.10	-	-	-
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み					5.0	0.20	-	-	-
3	汚染物質含有材料の使用回避					3.3	0.20	-	-	3.3
3.1	有害物質を含まない材料の使用					3.0	0.30	-	-	-
3.2	フロン・ハロンの回避					3.5	0.70	-	-	-
1	消火剤					-	-	-	-	-
2	発泡剤(断熱材等)					4.0	0.50	-	-	-
3	冷媒					3.0	0.50	-	-	-
LR3 敷地外環境						-	0.30	-	-	3.5
1	地球温暖化への配慮					4.3	0.33	-	-	4.3
2	地域環境への配慮					3.0	0.33	-	-	3.0
2.1	大気汚染防止					3.0	0.25	-	-	-
2.2	温熱環境悪化の改善					3.0	0.50	-	-	-
2.3	地域インフラへの負荷抑制					3.2	0.25	-	-	-
1	雨水排水負荷低減					3.0	0.25	-	-	-
2	汚水処理負荷抑制					3.0	0.25	-	-	-
3	交通負荷抑制					4.0	0.25	-	-	-
4	廃棄物処理負荷抑制					3.0	0.25	-	-	-
3	周辺環境への配慮					3.1	0.33	-	-	3.1
3.1	騒音・振動・悪臭の防止					3.0	0.40	-	-	-
1	騒音					3.0	1.00	-	-	-
2	振動					-	-	-	-	-
3	悪臭					-	-	-	-	-
3.2	風害、砂塵、日照障害の抑制					3.0	0.40	-	-	-
1	風害の抑制					3.0	0.70	-	-	-
2	砂塵の抑制					1.0	-	-	-	-
3	日照障害の抑制					3.0	0.30	-	-	-
3.3	光害の抑制					3.7	0.20	-	-	-
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策					4.0	0.70	-	-	-
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策					3.0	0.30	-	-	-
上記以外の重点項目						-	-	-	-	-
<事務所用途>						-	-	-	-	-
知的生産性向上への取組		快適・働きやすさ		⑬知的生産性向上への取組		3.0	-	-	-	-
<住宅用途>						-	-	-	-	-
健康と安心						-	-	-	-	-
1	化学汚染物質の対策	健康・安心		⑥健康対策		-	-	-	-	-
2	適切な換気計画	健康・安心		⑥健康対策		-	-	-	-	-
3	結露・カビ対策	健康・安心		⑥健康対策		-	-	-	-	-
4	犯罪に備える(共用部の防犯対策)	健康・安心		⑦防犯対策		-	-	-	-	-